

## <様式 6-5 学校教育活動支援事業成果報告書>

【教育活動の名称】 拠点校部活動の推進のための環境整備

【副題】 地域・保護者と協働したテニスコートの整備

【学校名】 高島市立安曇川中学校

### 1 本校の概要

近江聖人と讃えられる中江藤樹先生の生誕地である本校は、学校教育目標「確かな知性 かがやく良知 たくましい心身」のもと、藤樹先生の教えに基づき、「良知の心を磨き、正義を行動で示すことができる生徒・人とのかかわりを通して、認め合い励まし合える生徒・自分の才能を開花させるための努力を惜しまない生徒」を目指す生徒像として、様々な教育活動に取り組んでいる。

また、本校は、「コミュニティスクール」として、地域・学校・家庭がともに協働して、心身共に健やかな生徒の育成を目指し、課題や実態を共有し、より良い方向へ解決していくことを目的とした体制づくりを推進している。

朝の登校指導をはじめ、授業のサポートなどさまざまな行事や活動への支援や見守りに協力して下さる保護者や地域の方が徐々に増え、教育活動への支援・協力の体制が充実してきている。

### 2 取り組んだ内容

#### (1) 拠点校部活動の設置

生徒数は269名、学級数は各学年3学級、特別支援学級3学級、計12学級となっている。

生徒は、明るく素直な態度で授業に取り組み、活動的である。仲間と共に部活動や外部のクラブチームの活動にも、熱心に取り組んでいる生徒が多い。

本校の部活動は、陸上競技、軟式野球、サッカー、バレーボール、卓球、ソフトテニス、吹奏楽部、美術書道部の8つである。所属している生徒は約8割程度となっている。市内中学校の生徒数が減少傾向にあり、チーム編成の関係から、各校の部活動数も減少している。

文科省の「部活動の地域移行」の取り組みとして、本市では、昨年度より「休日における拠点校部活動」を実施し、本校では軟式野球部と、男子ソフトテニス部がその活動を開始している。

しかし、男子ソフトテニス部にあっては、女子ソフトテニス部もあり、3つのコートを男女のテニス部(部員46名<男子20名、女子26名>)が使用しなければならず、保護者からも練習環境の整備が望まれ、早急対策を検討した。

#### (2) テニスコートの環境整備

昨年、男子が使用していたコートが一部陥没し、地面の補修を行った。その後、地面の整地のために、砂を入れたり、地ならしなどで土砂を固めたりして、時間をかけて作業を実施した。毎日の練習後の作業には生徒も取り組み、保護者の中には、度々重機による作業をしていただいた。また、コート一面分の広さではないが、近くの草地の除草および整地を保護者がお手伝いいただき、練習場所が少し広げることができた。

冬場の整地ができたので、今後、コートのラインテープを張り替える作業を専門業者に依頼する予定をしている。



### 3 活動の成果

日々の部活動に生徒たちは、いきいきと取り組み、目標に向かって練習に励んでいる。

次年度も男子ソフトテニス部「拠点校」として、市内中学校より休日の活動に参加する生徒と共に今年度、男女ともに県大会、近畿大会に出場した。次年度もさら充実した活動になるようにと、保護者や地域の方の期待も大きい。子どもたちのために、教員、保護者、地域が協働して取り組んでいることに、学校として喜びと感謝の思いでいっぱいである。今後も協働の輪を一層広げていきたい。